

令和7年度 とうきょう すくわくプログラム実践報告書

令和8年3月13日

所在	台東区東上野2-25-12
園名	台東区立東上野保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

おと うた ことば

<テーマの設定理由>

平成29年より歌指導を実施しており、その中で様々な「おと」への関心や「うた」うことの楽しさ、歌の歌詞の「ことば」に心を寄せた活動を行っていく。自分たちで音を作り出すことを楽しめるように、また、リズムを楽しみながら音を作り出す活動、歌を楽しみながら音を鳴らす、リズムを楽しむ、体を動かす（ダンス）、表現遊び（劇遊び、描く）など子供たちの展開する遊びを探究する。

2. 活動スケジュール

歌指導
キッチン楽器演奏会
キッチン楽器遊び
音探し遊び
音探し遊び+音を描いてみよう
手作り楽器を作ってみよう
「おと うた ことば」+「アート」（4歳児・5歳児）
すくわくコンサート

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【歌指導】

キーボード、椅子、トーンチャイム、ギロ、オーガンジー布

【キッチン演奏会】

演奏会の前には、期待がもてるように話していった。

【キッチン楽器遊び】 + 【いろんな音を探してみよう】

キッチン用品を準備する。(ボール、お玉、泡だて器など)

楽器を準備する。(シェイカー、カバサ、鉄琴、)

バチ (全員分)

環境構成 椅子の設定 (音を鳴らすことをじっくり楽しむため)、他クラスとの保育室利用調整)

【音探し遊び+音を描いてみよう】

環境は普段通りの保育室やホールを使用した。

絵を描くための道具として・・・画用紙、絵の具、色鉛筆

【手作り楽器を作ってみよう】

<環境>

テーブルに素材を用意し自分の席にもって行って作れるようにする。

<素材>

・紙コップ・紙皿・卵パック・ストロー・鈴・石・缶・ビニールテープ・箱・ビーズ
はさみ・セロハンテープ・風船

【「おと うた ことば」 + 「アート」】

普段通り、ホールで歌をうたう。歌のイメージをすぐに絵に表現できるよう、同じ空間にテーブルを設定しておく。

絵を描くための道具として・・・画用紙(一人一枚ずつ)、模造紙(グループで1枚)

絵の具(1, 2 滴の水で薄めたもの)、スポンジ(各色6分の1の大きさ)、スポンジ

【すくわくコンサート】

舞台と座席の設定、マイク、譜面台、リングベルやマラカスの準備、計画の立案、講師との調整

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【歌・楽器指導】

3歳児：かえるのうた、たなばた、しゃぼんだま、たのしいね、とんぼのめがね、どんぐりころころ、やさいもグーチーパー、北風小僧の寒太郎、うれしひなまつり

4歳児：こたりのうた、たなばた、かたつむり、おばけなんてないさ、とんぼのめがね、やぎさんゆうびん、ともだち賛歌、ありがとうのはな

5歳児：にじ、たなばた、ミックスジュース、きらきら星（手作り楽器）、たのしいね、とんぼのめがね、山の音楽家、きらきら星（鍵盤ハーモニカ）、せかいがひとつになるまで、さよならぼくたちのほいくえん、6さいのうた

【キッチン楽器演奏会】

演奏会の鑑賞

ゆめをかなえてドラえもん、かえるのうた、ちゅーりっぷ、こいのぼり、じゅげむ
じゅげむ（にほんごであそぼ）、つるぎのまい（木琴）、ディズニーメドレー、キッチンビート（調理器具楽器）、キューピー3分クッキング（調理器具楽器）、ミッキーマウスマーチ（ボディーパーカッション）、ドレミのうた（すず）、さんぽ、ありがとうのはな

【キッチン楽器音遊び】＋【いろんな音を探してみよう】

キッチン演奏会の振り返り、キッチン楽器での音遊び
楽器遊び

パチを持って音探し

お気に入りの音の発表

合奏（年中クラスに披露）

【音探し遊び+音を描いてみよう】

何気なく使っているホールや園庭にも耳を澄ますと色々な音であふれていることに気付く。また、同じ椅子を叩いてみても叩く場所によって音の変化があることに気付いたり、音が何の音に似ているか感じたり、音の面白さを味わう。また、音を絵にして表すことで音のイメージを広げて楽しむ。

【手作り楽器を作ってみよう】

以前行った活動を振り返り、自分たちで音を作ってみることを伝え、素材を紹介する。素材の量や個数を制限しないことで、試行錯誤して作れるようにする。楽器を作る中で、発見したことや上手にできたところを共感したり褒めたりして意欲や自信へとつなげる。また、発想が広げられるような声かけを行うことで好奇心を高められるようにする。作り方が難しいところは都度援助し、子どもたちの発想したものを形にして表現できるようにする。

【「おと うた ことば」＋「アート」】

5歳児は『世界が一つになるまで』、4歳児『ありがとうのはな』。音程や歌詞を丁寧に確認してから歌う。曲や歌詞からイメージしたことや感じたありのままを言葉や色を絵にして表現する。筆ではなくスポンジや綿棒を使うことで工夫しながら描くことを楽しむ。自分だけでなく、グループの友達と一緒に表現する楽しさや模造紙一面に描く達成感や満足感を感じる。

【すくわくコンサート】

ソプラノ歌手、バイオリニスト、ジャズピアニストによるコンサート。

歌、演奏の鑑賞と楽器を持つての参加や、リズム遊び

幼児各クラスの歌：3歳児「にんげんっていいな」、4歳児「ともだち賛歌」5歳児「せかいがひとつになるまで」、星に願いを、ミッキーマウスマーチ、山の音楽家、きらきら星、とんとんとんとんひげじいさん、おもちゃのチャチャチャ、からだ★ダンダン、クリスマスソングメドレー、あわてんぼうのサンタクロース、ジングルベル、オーホーリーナイト、チャルダッシュ、レットイットゴー～ありのままで

<活動中の子供たちの声・子供同士のやりとり>

【歌指導】

発声練習では、姿勢にも意識するよう指導があり、楽しみながら音階を発声していた。音の変化や講師の声掛けに顔を見合わせて笑い合い楽しんで行っていた。言葉の意味や気持ち情景を講師から問いかけてもらいながら歌うことを楽しむ。また、トーンチャイムやギロなどの楽器の音色も思い思いに感じたことを言葉にして楽しんでいた。

【キッチン楽器演奏会】

知っている曲に友達同士顔を見合わせたり、面白い音に笑い合ったりしていた。自分たちも調理器具楽器で遊んでみたいとの声上がる。

【キッチン楽器音遊び】 + 【いろんな音を探してみよう】

- ・初めは片手でバチをもってたたいていた子ども達であったが、音を鳴らしてみる中で昨日の演奏会の演者の姿を思い出したのか両手にバチをもって軽快にリズムをたたいてみる児の姿があった。
- ・楽器遊びの最後には、曲に合わせて演奏してみたいという声があがり全員で曲に合わせて合奏をした。4歳児クラスの児に合奏をきいてもらい達成感にあふれた表情をうかべていた。
- ・12月のお楽しみ発表会で、保護者に楽器遊びを披露してみたいという声もきかれた。

【音探し遊び+音を描いてみよう】

- 静かになるといつも気にしない扇風機の羽の音が聞こえたり、赤ちゃんの泣き声が聞こえたりして発見を喜んでいた。
- ・音を探すことは皆とても楽しみ、叩く道具を変えたり、叩き方を変えてみたりと工夫していた。
 - ・友達の発見にも興味を示し、どんな音なのか耳を澄ませ聞く姿があった。
 - ・音を絵にすることに戸惑う児もいたが、周りの様子を見て次第に感じたままに絵に表していた。

【手作り楽器を作ってみよう】

紙コップや卵パック、ストロー、鈴、石、缶など様々なものを紹介すると、「コップに石いれようかな」「缶をたたいたらどんな音？」などと次々にイメージしたものを話し始める。いくつか実際に保育士等がやってみると「すごーい！」と目を丸くしながら驚いていた。音を確認しながら、廃材を付け加えたりやめたり試行錯誤し迷いなくどんどんつくり始める。廃材の使い方やものの違いによって音が異なることを発見したり、ペンやテープで装飾したり工夫もみられた。イメージを形にできずに保育士などにアドバイスを求める児には「こうしてみたらどうかな」と伝えるとイメージを膨らませていた。最後はホールに移動してリズムや曲に合わせて演奏してみる。「ここもうちょっと直したい」「ここもっと補強したい」など実際に使ってみてなおしたい箇所も出てきた様子だったので、午後に手直しすることになった。その後別日にも「もう一つ作りたい」「もっとこうしようかな」と工夫を重ねていた。

【「おと うた ことば」＋「アート」】

講師が子ども達にイメージをきくと、最初は自分の感じたものが正解なのか様子をうかがっている様子もあったが、一人一人が発表しているうちにイメージが広がったのか次々に言葉や色の名前を話す姿があった。歌詞にはない言葉で表現する児もいた。

- ・絵の具をつかって描く際には少し戸惑っている児の様子があったため、保育士等が「まぶしいって太陽のことかな？」「名前をよばれたらどんな気持ちだろう？」などと問いかけ子ども達のイメージを引き出す。

- ・どのように書いたらいいか困っている児もいたが、講師の肯定的な言葉かけにより自由に楽しい雰囲気の中で描くことを楽しんでいた。

- ・始めは1色の絵の具をつかって太陽や地球などの絵をかいていたが、次第に色を重ねたり、曲のリズムに合わせスポンジで叩いてみたりと工夫がみられた。途中で、間違えて違う色の場所にスポンジを置いてしまい色が変わってしまったが、講師が肯定的な言葉をかけることで混色も楽しむ様子があった。

- ・子ども達の作品やつばやきに対して、肯定的言葉をかけることで自由に描くことを楽しんでいた。

【すくわくコンサート】

知っている曲には体でリズムをと足り手拍子をしたり一緒に口ずさんだりして楽しむ姿がみられた。歌、バイオリン、ピアノの迫力や音楽の美しさを感じ、じっと聴き入る姿が見られた。途中、体操の曲や楽器を一緒にならすことのできる参加型の場面もあり満喫していた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

5. 振り返り

【歌指導】

講師と担任とが毎回振り返りを行い、子ども達の歌指導のポイントや、進め方のアドバイスを受けた。言葉の背景や思いに気づいたり感じたりしながらその世界を楽しんで歌うことができるよう、意識を高めていきたいと感じた。

【キッチン楽器演奏会】

45分という長めの時間であったが、楽しい時間というのは、子ども達の集中が途切れることなく、楽しめあつという間の時間となることを再確認できた。子どもの表情や演奏を見つめる瞳、リズムに合わせて自然と体が動いてしまう楽しさを子ども達の主体的で探究心を高められる遊びに繋げていきたい。

【キッチン楽器遊び】

- ・進級して初めての楽器遊びの活動であったが、演奏会をきっかけに楽器遊びを楽しめたのではないかなと思う。園内で音探しをしたことで、身近にあるもので音を鳴らすことの楽しさや、音の違いがある面白さを感じられたのではないかなと思う。
- ・今後も子ども達の興味や様子に合わせた環境を整え、歌や音、言葉をつかった遊びを楽しめるような活動を楽しめるようにしていきたい。

【音探し遊び+音を描いてみよう】

いつも何気なく遊んでいるホールや園庭にも耳を澄ませると色々な音があることに気付く姿があった。音を探しに行く活動はとても生き生きと楽しみ、叩く場所によって音が変わることや椅子そのものを叩いた時と座った時にたたくと音が変わることを発見して喜んでいた。以前よりも音の変化によく気付いている児が多かった。音を絵に表現することが難しいのではないかなと思ったが、戸惑う児もいたものの、感じたままに絵に表す児が多くとても素敵な作品となった。

【手作り楽器を作ってみよう】

制作が好きなクラスで1日では収まらないほど集中して楽しんでいた。素材が沢山あることで色々と試し楽しむことができていた。最後に自分で作った楽器を用いて、リズムや曲に合わせて演奏をしたことで達成感を感じている様子であった。

【「おと うた ことば」＋「アート」】

- ・ 普段から歌をうたうことへの関心が高いので、興味がさらに深まった活動だったように思う。
- ・ 言葉の使い方や、絵の具の使い方に子ども達の工夫がみられクラス全体としての表現力の高さを改めて感じた。
- ・ 完成した模造紙や画用紙の作品は、発表会の大道具や背景などの一部として発表できるように工夫する。
- ・ 講師の肯定的な言葉のかけかたは保育士としてとても勉強になった。今度も、子ども達の感じたありのままを認め表現する楽しさを感じられる活動を行っていきたい。

【すくわくコンサート】

子供たちが終始、音楽を楽しんだ時間であった。子供の集中して、かつリラックスして楽しむ表情や姿を見て、音楽の力を改めて感じ、このような経験を重ねていけるとよいと改めて感じた。

【歌指導】



【キッチン楽器演奏会】



【キッチン楽器遊び】



【音探し遊び+音を描いてみよう】



【手作り楽器を作ってみよう】



【「おと うた ことば」 + 「アート」】





【すくわくコンサート】

